

高荷重打鍵試験機・ON 荷重測定機

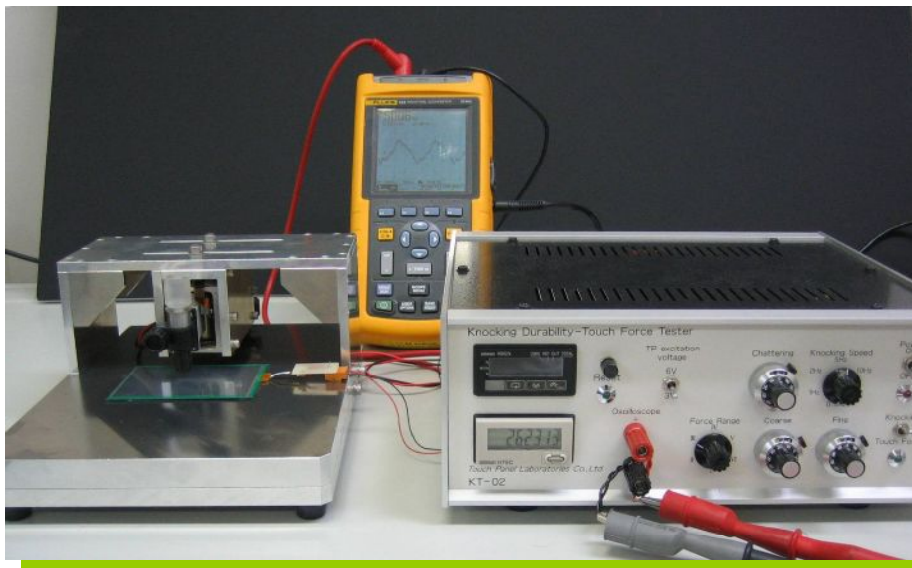
202 型-950-1 (電子秤),
202 型-950-2 (ロードセル)

抵抗膜式タッチパネルの打鍵寿命と、入力する最小荷重を測定する装置で、各タッチパネルメーカーで使われています

1. 打鍵試験機

ペン又はゴムで繰り返し入力し、回路の電流をオシロスコープでモニターする試験機です。
制御回路でソレノイドのパルス電流強度と周波数で、打鍵の周期と荷重を制御します。
正常な状態では矩形波が観測され、この矩形波が著しく崩れた状態でキー部は破損したと判断しています。

2. ON 荷重測定機



ON 荷重測定機は、ペン又は指で入力する最小荷重を測定するもので、ソレノイドでペンやゴムに加わる荷重を調整し、テスターで入力を判定しながら入力した最小荷重を電子秤で読み取る測定機です。

3. 仕様

- ① 定格電源： AC100V 3A
- ② 荷重： 50～950 g
- ③ 打鍵速度： 0.5、1、2、5、10Hz
- ④ サンプルステージサイズ： 168mm×250mm
- ⑤ 測定可能厚み： 1～21mm ※ご要望により調整可能
- ⑥ ストップ打鍵カウンター： 1～9999 万回 (1 万回ステップ)

株式会社タッチパネル研究所

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-3-17 高橋ビル3F

TEL:042-666-6686 FAX:042-667-0180

<http://www.touchpanel.co.jp>